



# 日々ぼちぼちと

発行：〒714-1202 岡山県小田郡矢掛町小林27番地  
(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち  
TEL：0866-82-2277 FAX：0866-82-2279

2012.9.1発行  
**創刊号**

このニュースレターは、(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち とご縁のある方に贈ります。

ニュースレター

創刊にあたり

みなさん、こんにちわ！  
平成二二年九月一日に小規模多機能ホームぼちぼちを開所してから、早いもので二年が経ちました。

住み慣れた地域で、介護が必要になっても、認知症になっても、その人らしく暮らし続けることができています。まだまだ安心をお届けするには十分ではありません。これから、みなさんと共に一歩ずつ、日々ぼちぼち歩んでいけるようにがんばります。

そこで、みなさんとより親密になれるよう、ニュースレターを発行させて頂くことにしました。

もちろん、今まで季節ごとに発行させて頂いていた季刊誌は従来どおり発行致します。末永く、お付き合い頂けますよう、よろしくお願ひします。

(代表取締役 村上康雄)



わたしのつばき

“わたし”こと、村上の個人的な部分をかっつぷりやいていきます。手始めに、プロフィールから！  
一九六一年四月、千葉県千葉市に生まれる。

小学四年の時に、倉敷市連島町鶴新田(川鉄田)に引越その後、倉敷市玉島長尾、浅口市鴨方町みどりヶ丘と引越で転々とする。(現在は浅口市鴨方町鴨方に居住)

岡山県立玉島高等学校卒業後、京都のコンピュータ専門学校へ。卒業後三年間は京都でコンピュータ関係の仕事に就き、がんばるも挫折し岡山へ戻る。機械・プラント関係の設計事務所で三年間勤務後、

現在の仕事の基となる病院へ父親が痔の手術をした縁から就職。医事・介護と携わり現在立ち上げている小規模多機能型居宅介護を知る。紆余曲折があり、二二年間勤めた病院を退職し、平成二二年九月、同じ思いの仲間と一緒に

小規模多機能型居宅介護事業所を開設し現在に至る。妻；一人、子供；二人。趣味は下手なテニス、パソコンの自作。愛車；レガシィ。



## 食べログ

とある日曜日の午後、妻と買い物で福山へ出かけた。時間が遅くなったのと、高校生の息子も友達と外食するとのことで、食べて帰ろうということになり(十数年ぶり(^^;))、南蔵王町のボギィへ。奥の席に案内され、私たちは、フライドチキンカレーとレディースカレー(ハーフ)を注文。しばらくして、カレーが来ました。20年ぶりくらいでしたが、昔と変わらぬスタイルでほっとする(^-^)

で、肝心の味ですが・・・

こんな味だったかな?(^^;)なんか、辛いだけでコクも感じられず、(香辛料の味なんでしょうが)焦げたような味。昔のイメージでは、もっとおいしかったような・・・

でも、フライドチキンや食後に出るゼラートは、おいしかったです。カレールーがイマイチなのが、非常に残念でした。(村上)





認知症介護では、介護者の関わり方が不適切だと信頼関係が構築できないばかりか、認知症の周辺症状が悪化するなどの悪影響が多く出てしまいます。不適切な関わりとは、介護者が禁句（良くない声かけ）を使うことです。禁句には、下のようなものが挙げられます。

認知症の方に、指示・指図・命令的な声かけは、いずれも使ってはいけない不適切な言葉です。たとえ丁寧語を使い、どんなに優しく言ったとしても「洋服を着なさい」「じっとしていなさい」などと「しなさい」と言われるのと同じように感じられ、「命令された」「見下された」と思われてしまうことが多いのです。「ししていただくだけですか」など、「依頼的態度」での表現を心がけましょう。また、なぜそのようにして欲しいのかが分かるように、その理由も伝えるとよいでしょう。

（認知症介護、困る場面の声かけテクニックより）

禁句

- ① 指示・指図・命令する言葉
- ② 指摘、咎め、叱責、詰問
- ③ 強要、強制、脅し文句
- ④ 決めつけた言い方
- ⑤ 禁止・否定する言葉
- ⑥ 当てつけ、嫌味、愚痴
- ⑦ 急がす言葉
- ⑧ 拒絶、無視

スタッフ紹介

① 名前：桐岡光明  
 ② 役職：執行役員、小規模多機能ホームぼちぼち管理者  
 ③ 資格：介護福祉士

昭和四十六年十一月に、岡山県で高齢化率ナンバーワンの新庄村に生まれる。（がいせん桜もナンバーワン）  
 幼稚園から中学校卒業までは同級生一〇人。イノシシとも遊びながら幼少時代を過ごす。都会にありながら、高校卒業と同時に倉敷へ。木造住宅建築会社に就職し、一〇年間現場監督をする。泡と共に給料も減っていく。転職を考える。保育士を目指す。指したのがピアノが弾けず断念。心機一転、高齢者介護をしよう。と決意し、ヘルパー資格を取得。その後、病院やら何やらもろもろ・・・を経験し矢掛の地へ舞い降りた。現在の社長と共に法人を設立し、小規模多機能ホームぼちぼちを開所する。認知症高齢者のよろず相談所管理者として、日々ゆっくり、まったり、ぼちぼち、高齢者と共に突っ込みながら過ごしている。趣味は、パソコンいじりと釣り。



みなさまからの声

ぼちぼちさんのお陰で本人はもとより私達家族も大変助かっており感謝の言葉しかありません。  
 本人が自由にしたいことをしたいようにしながら過ごすことができ、そして、私達家族も安心して生活していけます。変化があった時には臨機応変に対応して下さり、悩みにも相談に乗って頂ける、心の支えでもあります。今、我々が平静に心豊かにいられることに対し、心よりお礼申し上げます。  
 特に、本人の状態や希望に合わせての型にはまらない対応には頭の下がる思いです。買い物・訪問同行、ドライブ、病院、墓参りetc...。（清水和枝様）

編集後記



2週間におたる真夏の祭典、ロンドンオリンピックも終わり、寝不足の毎日からやっと解放されそうです。今回は過去最高の38個のメダル。特に団体、チームプレーの競技は素晴らしかったですね。最後まであきらめずにベストを尽くす姿に勇気と感動をもらいました。震災や原発、大雨による災害といった暗いニュースが多かっただけに喜びもひとしおですね。介護も、ケアマネジャー・介護職員・看護職員等様々な職種が係わるチームプレイのベストを尽くして、ご利用者・ご家族に感動を与えられるようにがんばるぞ〜。（村上）